

令和6年第6回（9月）宮若市議会定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	備考
1. 染矢 正次	1. 聴覚障がい者の方に対する支援について	(1) 窓口に軟骨伝導イヤホンの導入について伺う (2) 手話言語条例に掲げる施策の実施について進捗状況を伺う	
2. 安永 友則	1. 宮若市振興券について伺う	(1) 今回の販売状況と、問題点を問う	
	2. 自主防災組織の現状について伺う	(1) 防災に関する各自治会と、小・中学校の取組について問う (2) ここ数年の当市の災害と避難の状況を問う	
	3. 道路行政について伺う	(1) 飯塚～福間線の実施計画が始まって二十数年経過している。整備期成会の取組と、現状について問う (2) 市道は、1,313路線、延長約500km程度と聞いているが、現在の状況は、どうなっているか問う (3) 第2次総合計画後期基本計画での、生活道路の修繕計画について問う	
3. 清水 健太郎	1. 農業の現状とその課題について伺う	(1) 生産者の推移はどうなっているのか。また、それにあたって市内の耕作面積の推移はどうなっているのか問う (2) 鳥獣被害における耕作者への負担や耕作放棄地などの対応はどうしているのか問う	
	2. 成年後見人制度の活用とその状況について伺う	(1) 成年後見人制度の概要と本市での活用実績とその現状について問う	
4. 柴田 裕美子	1. 本市におけるふるさと納税の現状とこれからの活用方法について伺う	(1) これまでの寄附額の実績と使い道について伺う (2) 今までの取組に対する良かったところ、悪かったところを含む反省点と、今後の展開について伺う	
5. 藤春 優二	1. 本市の定住促進施策について	(1) 本市が定住促進施策の推進として実施してきた子育て・新婚世帯家賃補助金制度と住宅奨励金制度のこれまでの成果について伺う。また、新たに制定する住宅奨励金制度の内容とこの制度に期待する効果を伺う	
6. 山元 秀一	1. デジタル行政の推進やあらゆる情報を活用した政策立案等について伺う	(1) IoTを活用した行政サービスの充実について現状の取組と将来的な展望について伺う。また、市はあらゆる分野の膨大な情報・データを所有していることから、それらを活用した住民サービスの向上や経済活動の活性化などデータの有効的な活用について伺う。上記を踏まえ政策実行においてデータの有効性	

		<p>はもちろんだが、あらゆる分野のリアルな情報も重要な要素であり、それらを活用した事業遂行には有意性があると考え。あらゆる情報の収集について市の見解を示されたい</p>	
	<p>2. 防災の取組並びに避難所の設置・運営など災害に強いまちづくりについて問う</p>	<p>(1) IoT を活用した防災行政サービスの充実について現状の取組と将来的な展望について伺う。また、市はあらゆる分野の膨大な情報・データを所有していることから、それらを活用することで住民の防災意識向上や災害時の対応、及び日々の安心・安全な日常生活の実現に向けた情報の有効活用について伺う。さらに、防災には日頃からの対策が必要であることから、災害に強いまちづくりの実現について市の取り組むべき課題等について伺う</p>	